



安定した経営を続ける企業の共通項として、人を大切にする姿勢を挙げる坂本光司氏—松江市殿町、サンラボ—むらくも

「社員重視」で経営安定

企業紹介シリーズ著者 坂本光司氏が講演

島根県「人財塾」

この日の講演では、経済情勢に左右されず

島根県は7日、本年度の「人財塾」を松江市内でスタートさせた。同講座は次代を担う経営者の育成が目的。

「日本でいちばん大切にしたい会社」の著者の坂本光司・法政大学院教授が、経営の安定した企業は「人を大切にしている」と説いた。

人財塾は、2010年度から実施。本年度は、若手の経営者や後継者ら34人が受講する。

一方、坂本氏は全国約6600社の中小企業を取材し、魅力的な経営を行う企業を紹介する書籍をシリーズで出版。県内では、中村ブレイス（大田市）や島根電工（松江市）などを取り上げている。

に成長を続ける企業の共通項として、雇用や待遇を重んじる姿勢を指摘。社員のやる気を引き出すことが、「結果的にサービス向上や業績アップにつながる」と強調した。

同氏の著作で紹介されたレーザー機器販売の日本レーザー（東京都）の近藤宣之社長も講演。性別や国籍ではなく、能力や実績に基づき、人事を行っている

ことなどを報告した。本年度の人財塾は計6回で構成。先駆的な企業の視察や経営者の講演などを経て、受講者がそれぞれの将来ビジョンを発表する。

2012年6月8日(金) 発行
山陰中央新報 22ページ掲載